

ワークショップ6

「胃・十二指腸腫瘍に対する内視鏡診療の最前線」

司会 加藤 元彦（慶應義塾大学医学部内視鏡センター）

角嶋 直美（昭和医科大学医学部内科学講座消化器内科学部門）

近年、内視鏡機器や画像強調技術、治療デバイスの進歩により、胃・十二指腸腫瘍に対する内視鏡診療は大きな発展を遂げている。本企画では、内視鏡診断における病変の拾い上げ、質的・深達度診断の工夫から、ESDをはじめとする内視鏡治療の適応、成績、合併症対策に至るまで、演題を広く募集する。日常診療に直結する知見や新たな挑戦を共有する場となることを期待する。